ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　　2016.5.10　No. 2415

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

Be a gift to the world

2015-2016 RI テーマ
世界への
プレゼントになろう

創　立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日
会　長／玉村一男

例会場／武生商工会館
幹　事／石本茂雄
会報委員長／宇野賢治

第3000回 例会記録　平成28年4月24日(日)

本日出席会員41名
　メークアップ（前々回）　6名
　出席率（前々回補正）80.0%

会員総数 60名

ロータリーソング「奉仕の理想」
武生ロータリークラブ 3000回記念例会・懇親会
芦原温泉　べにや

会長挨拶　第62代会長　玉村一男

本日は武生ロータリークラブにとって記念すべき第3000回目の例会であります。第1回例会より62年目にして今日の例会を迎えることが出来ました。武生RCの歴史の重みを感じますと共に、諸先輩方の偉業に敬意を表する次第です。そこで今日は会員の皆様とお祝いをして、大いに親睦を深めようと云う事になり、「芦原温泉べにや」で例会を開催する運びとなりました。本日41名という沢山のご参加を頂き誠に有難うございます。

25周年記念誌によりますと、武生ロータリークラブの第1回例会は竹下勘右ヱ門初代会長時の1954年（昭和29年）7月6日に行われ、第1000回例会は西野一郎第22代会長時の昭和50年7月1日に行われました。そして第2000回例会は石川満夫第41代会長時の平成6年10月25日に行われました。そして本日ここに第3000回例会を開催されます事は、62代会長として誠に喜ばしい限りであります。ロータリーは奉仕と親睦が両輪であります。その趣旨に基づきまして、本日の温泉での第3000回例会は中西眞三親睦委員長以下親睦委員の皆さんが綿密に計画されました。芸者さんをいれた大変楽しい親睦会になりそうなので大いに期待しています。盛上げて頂き本当に有難うございます。そして本日は裸のお付合いを心ゆくまで楽しんで頂ければと思います。

また第3000回例会記念事業として、5月14日㈯には越前市職員JMTグループとコラボして「越前市出会い創造事業」と題して「記念植樹」と「ECHISPO」も行います。第3000回例会記念事業は「本日の温泉親睦会」と「記念植樹で地域に奉仕」の2段構えで行います。

プログラム

"Enter to Learn, go forth to Serve"

第3000回例会に寄せて―
石川満夫第41代会長

4月24日の例会は、武生ロータリークラブ創立以来3000回を数える記念すべき例会です。3000回―、それはクラブの62年におよぶ足跡を刻むズシリと重い歴史を物語るものです。

私にとっては入会以来42年、2045回の例会になります。馬齢を重ねて84歳、その半生をロータリーと共にし、その間、例会には健康でメーキャップを含めてほぼ皆勤、そして何よりも数多くの人たちの知遇を得、友誼を深めることが出来たことは、人生のかけがえのない宝であり、ロータリーからの至福の贈りものと有り難く思っています。

『超我の奉仕』（Service Above Self）を理念とするロータリーの活動基本は、"Enter to Learn, go forth to Serve"（入りて学び、出でて奉仕を―）にあります。「ロータリーの真髄は修養と奉仕にある。例会では奉仕の心を高め、それを共有することで深い親睦が育まれる。そこで会得した『奉仕の理念』（Ideal of Service）を、それぞれの職場やコミュニティで実践する。これこそロータリーライフだ―」というものです。まさにロータリーのロータリーたる所以は、例会出席の義務にあると云えます。

それにしても、ロータリーは随分変わりました。時代は大きく変革、それに即応してロータリーも革新するは必然―、とは云うものの「楷書が行書に変わり、行書が草書になり、最近は変体仮名に変わってしまった」とローターの古老をして慨嘆せしめるほどの変身ぶりは如何なものか。

RIの拡大指向のポピュリズム的展開は、『超我の奉仕』に根ざすロータリーの高潔さは薄れ、例会はタガがゆるんで、楽しくも"人生の道場"（米山梅吉）の雰囲気は昔日のものとなってしまいました。そして、奉仕の実践活動は、職業倫理にもとづく奉仕―Vocational Service（職業奉仕）を置き去りにして、Volunteerの流れのCommunity Service（社会奉仕）に軸足が移りつつあります。

他方では、ロータリーは職業奉仕あるのみと力説するものの、"理想的奉仕の言論的唱道に安住"（米山梅吉訳・ポールハリス著「THIS ROTARIAN AGE」より）していないかが問われています。『決議24－34』の第4フレーズ「奉仕するものは行動しなければならない。ロータリーは単なる心の持ち方のみでなく、またロータリーの哲学も単に主観的ではなくて、実際的な行動に移さなければならない」ことを肝に銘ずべきでしょう。

ロータリーのステイタス性には抵抗を感じるものの、故小谷PGの「ロータリアンはエリートたれ」には共感を覚えます。エリートとは、ある社会や集団の中ですぐれた能力・素質をもち、指導的地位についている選ばれた人、よりぬきです。そしてエリートに課せられるのは、Noblesse Oblige（勇者の責任）であるといわれます。謙虚さ、寛容、思いやり、そして高い道徳心です。弱者を救う責任―つまりは、奉仕の責務があるということです。ロータリアンはエリートたる矜持と気概を持って欲しいものです。

3000回例会―、武生ロータリーの62年の足跡を噛みしめ、自省をこめて、ロータリーの原点に思いを至す機会としたいものです。

"Enjoy Rotary"ロータリーを楽しむために…。

会員寄稿

～参千回例会を迎えて～

渡辺佳男第43代会長

ロータリーの例会で、クラブの歌を唄い続けている幸福（しあわせ）を思う。このたび、創始以来の例会が参千回を迎える。昭和29年に呱々の声を挙げて以来、武生RCは満62年という歳月が流れた。しかも、クラブのメンバーも60名を維持し、いさゝかの衰えも感じさせないパワーもある。扨、参千は燦然でもある。クラブの過去の歴史の中で、燦然たる輝きは幾つかあろうが、私にとっては、林ガバナーの時代である。

往時の事蹟については、多くのロータリアンの一致した意見として、1.ジョムソンでの壮大な社会奉仕。2.白砂青松、桜花爛漫の野外を舞台とした地区大会。3.北の大地、北海道の自然を背景にした統一ライラの3つがある。アルピニストでもあった先生は、75歳を一期に、逝去された無念は今に残るが、既に16年が経過した。

また、参千は参膳でもある。武生を離れて、名湯の宿で、会員が裸になり、遙かなる歴史のあれこれを想い、参千を起点に優れたクラブの創造に思いを馳せる場でもあって欲しい。

私も今や、傘寿を超えて、まさに「加齢なる日々」ということになるが、会員諸賢との湯の膳で、高く盃を挙げたい。参千！燦然！そして参膳！

懇親会

乾杯/草桶パスト会長

中締め/高橋パスト会長

ニコニコ箱 …… 114,000円　　累計 1,111,600円

今日はニコニコ箱の第3000円例会ということでちょっと多めですが、よろしくお願いします。

例会変更情報／福井県内ビジター受付（5月11日～5月24日）

5月17日	福井フェニックスRC	18:00～18:30	ザグランユアーズフクイ1階
5月19日	福井水仙RC	18:00～18:30	福井パレスホテル
5月19日	敦賀西RC	12:00～12:30	プラザ萬象2階ロータリー事務局
5月24日	福井南RC	12:00～12:30	繊協ビル正面玄関

＊変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(5月10日)の例会	5月17日→14日	5月24日	5月31日
第一例会行事 新入会員卓話 青山正幸会員	例会3000回記念植樹 移動例会 越前市文化センター	ゲスト卓話 伊藤洋子氏	RYLA受講報告 RYLA受講者 伊吹奈緒氏